

【専門教育科目/看護の展開/母性看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
母性看護援助論 I		必修	2	2	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田中深雪	409	m.tanaka	金曜日 16:20～17:50		
授業の目的・概要	女性のライフサイクル各期(思春期・成熟期・更年期・老年期)における性と生殖の観点から身体・心理・社会的な特徴及び発達を理解し、各時期に応じた健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、健康逸脱時における看護の目的・方法・役割機能について学ぶ。妊娠・分娩・産褥期、新生児期の経過を理解し、各時期の対象におこる変化や適応状態をアセスメントし、母性看護の対象に関わる基本的姿勢と基本的技術を学ぶ。対象とその家族のもつ課題や健康問題について理解し、周産期を正常に経過し、異常に逸脱しないように対象自身のセルフケア能力を活かした援助の基本的知識・技術・態度を修得する。さらに妊娠・分娩の異常、健康を逸脱した褥婦、不妊症、性感染症、更年期障害の看護について基本的知識・技術・態度を修得する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	予習復習を実施し、疑問が生じた場合は講義毎のコメントページやオフィスアワー等で質問すること。				
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学①/著:森恵美 他/医学書院/2021 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学②/著:森恵美 他/医学書院/2021 「2冊指定」				
参考書	最新産科学 正常編/著:荒木勤/文光堂、最新産科学 異常編/著:荒木勤/文光堂 新生児学入門 第4版/著:仁志田博司/医学書院				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	女性のライフサイクル各期(思春期・成熟期・更年期・老年期)における女性の健康とその		NS(2)(4)		
②	妊娠・分娩・産褥期・新生児期の正常な経過とその看護について説明することができ		NS(2)(4)		
③	妊娠・分娩・産褥期・新生児期の健康逸脱とその看護について説明することができ		NS(2)(4)		
④	産期の母子に対する看護過程を記述することができる		NS(2)(3)(4)		
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション	講義	1		
2	女性のライフサイクルと健康について学ぶ。(思春期)	講義	1		
3	女性のライフサイクルと健康について学ぶ。(成熟期)	講義	1		
4	女性のライフサイクルと健康について学ぶ。(更年期、老年期)	講義	1		
5	正常妊娠経過について学ぶ	講義	1		
6	正常妊娠経過について学ぶ	講義	1		
7	妊娠期のアセスメントと看護について学ぶ。	講義	1		
8	妊娠期のアセスメントと看護について学ぶ。	講義	1		

【専門教育科目/看護の展開/母性看護学】

9	正常分娩経過について学ぶ。	講義	1
10	分娩期のアセスメントと看護について学ぶ。	講義	1
11	正常新生児について学ぶ。	講義	1
12	正常新生児のアセスメントと看護について学ぶ。	講義	1
13	正常新生児のアセスメントと看護について学ぶ。	講義	1
14	正常産褥経過について学ぶ。	講義	1
15	産褥期のアセスメントと看護について学ぶ。	講義	1
16	産褥期のアセスメントと看護について学ぶ。	講義	1
17	中間試験(30分) 産褥期の看護過程について学ぶ(講義後課題実施)。	講義	1
18	産褥期の看護過程を展開する。	講義・演習	1
19	産褥期の看護過程を展開する。	講義・演習	1
20	新生児期の看護過程を展開する。	講義・演習	1
21	新生児期の看護過程を展開する。	講義・演習	1
22	妊娠期の異常について学ぶ。	講義	1
23	妊娠期の異常について学ぶ。	講義	1
24	分娩期の異常について学ぶ。	講義	1
25	分娩期の異常について学ぶ。	講義	1
26	新生児期の異常について学ぶ。	講義	1
27	新生児期の異常について学ぶ。	講義	1
28	産褥期の異常について学ぶ。	講義	1
29	産褥期の異常について学ぶ。	講義	1
30	まとめ 母性看護援助論 I の講義、演習内容を総括する。	講義	1
試	定期試験(60分) 達成度評価・評価のポイントを参照		

【予習】事前課題に取り組む。  
【復習】教科書や資料を基に知識の整理を行う。事後課題に取り組む

【専門教育科目/看護の展開/母性看護学】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	10	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	60	5	0	0	0	65
	思考・推論・創造する力	20	5	0	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	中間試験と定期試験を実施して評価する。評価割合は中間試験 20%、定期試験 60%で合計 80%とする。各試験ではテキスト、資料に基づく問題を出題し理解度を問う。				試験解説の時間を設ける。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①		演習時の課題の記載内容を全体の 10%で評価する。課題の詳細は講義内で説明する。				課題確認後返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	出席や講義、演習時の取り組み姿勢を全体の 10%で評価する。				口頭でフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教 員 の 実 務 経 験	助産師として5年以上の臨床経験を有する。						
実 践 的 授 業 の 内 容	実務経験のある教員の指導のもと、母性看護学の基礎的知識、技術について理解を深める。						
そ の 他	17回目に中間試験を実施する。 講義内容のフィードバックは毎講義コメントペーパーで実施する。 事前課題等は期日までに提出すること。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性がある。						